

令和3年度

事業報告書

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

公益財団法人京都市健康づくり協会

令和3年度 事業報告

当協会の設立者であります京都市では、市民の健康寿命を平均寿命に近づけ、活力ある地域社会「健康長寿のまち・京都」を実現するため平成28年5月に「健康長寿のまち・京都市民会議」を発足させ、市民全体で健康づくりの機運を高め、すべての市民が参加する運動に広げるための取組を進めてまいりました。

当協会は、積極的にこの市民会議に参画し、オール京都の取組として推進される市民ぐるみの健康づくり運動の一翼を担うとともに、一層自律的な経営を進めるため、引き続き（公財）京都市都市緑化協会との連携による梅小路公園を拠点とした健康づくり事業や老人クラブ連合会との連携による「半日体験」事業等自主事業の充実強化を図ってまいりました。

とりわけ、中高年齢者の健康保持増進事業についてはより一層留意し、協会の使命である市民の健康と福祉の向上に努め、高品質で満足度の高い市民サービスの提供が行えるよう令和3年度事業計画に基づき積極的な事業推進に取り組みました。

また、健康度測定のための診療業務や生活習慣病予防のための栄養教室について、医師の派遣を受けるなど京都市立病院との連携を図りました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防による緊急事態宣言及びまん延防止重点措置の適用により令和3年4月～6月、8月～9月にかけて臨時休館や時短営業を余儀なくされた結果、収益が大幅に減少する一方で、光熱水費等の支出が増大したことから、1千万円を超える赤字を計上することとなりました。

また営業に際しては館内の密を避けるため利用定員を縮小するとともに、スタッフ及び利用者のマスクの着用、健康管理、検温、定期的な消毒など感染予防に努めて、営業を継続することで、引き続き市民の健康づくりの拠点としての役割を果たしております。

令和3年8月に策定された京都市行財政改革計画の取組の一環として、京都市健康増進センターについては、施設の今日的な役割や民間等類似施設の充実等を踏まえると、多額の公費投入を要する施設・設備の更新を行ってまで、公設施設として維持し続けることは困難な状況であり、「令和4年度末を以って廃止することが妥当と判断する」との廃止方針が令和4年3月に京都市会に報告されたことから、今後の当センター及び協会のあり方について京都市と協議、調整を進めてまいります。

主な事業等は以下のとおりです。

I 役員会等の開催

理事会

★定例理事会	
開催日	令和3年5月25日（決議の省略）
審議事項等	① 令和2年度事業報告及び収支決算について ② 定時評議員会の日時及び場所並びに目的事項について ③ 令和2年度資金運用の執行状況についての報告

★定例理事会	
開催日	令和4年3月25日
審議事項等	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度事業計画及び収支予算について ② 令和4年度資金運用計画の執行方針及び計画について ③ 臨時評議員会の開催及び目的事項について ④ 令和3年度資金運用の執行状況についての報告

評議員会

★臨時評議員会	
開催日	令和3年5月6日（決議の省略）
審議事項等	<ul style="list-style-type: none"> ① 理事の辞任及び選任について ② 評議員の辞任及び選任について
★定時評議員会	
開催日	令和3年6月25日
審議事項等	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和2年度事業報告及び収支決算について ② 役員の選任について ③ 令和2年度資金運用執行状況及び令和3年度資金運用方針についての報告

II 令和3年度の主な事業

1 中高年齢者に対する健康保持増進事業

(1) 介護予防事業の推進

- 生活機能維持向上
- 自立，社会参加能力の低下予防

生活機能の維持向上により，一人でも多くの市民が要支援，要介護状態に陥ることのないよう健康増進，疾病予防の取組や生活機能低下の早期発見，早期対応にむけた以下の取組を行いました。

なお，実施に当たっては，運動指導，栄養指導に係る各専門スタッフが，平成15年度に作成された「京から始めるいきいき筋力トレーニング」（京都市オリジナル）プログラムや平成17年度に他都市に先駆けて導入した「油圧式筋力トレーニングマシン」を用いる運動プログラム，そして平成25年度に作成した「ロコモ いつでも どこでも 京ロコステップ+10」を適切に活用するよう留意しました。

① 減塩，糖尿病予防，貯筋，お手軽クッキング教室（シニア栄養相談）

京都市のシニア栄養相談実施要綱に基づき，低栄養状態や糖尿病，高血圧やロコモティブシンドロームを予防するため，保健師や管理栄養士による講話や健康運動指導士による運動指導，更には調理実習等を行い，食習慣や生活習慣の改善を図りました。

実施に際しては，特に「食べる楽しみ」を考慮し，「しっかり食べて元気はつらつ！」をテーマとした栄養指導やクッキングの実践等も行いました。

また，それぞれの教室の目的に合わせ，尿中塩分濃度測定（減塩），食前食後の血糖値測定（糖尿病予防），体力測定（貯筋）などで一人一人の身体の状態をチェックし，より適切なアドバイスを行いました。

◆参加人数 延べ 218人

② 食事と健口でフレイル予防教室（すこやか栄養教室）

京都市のすこやか栄養教室実施要綱に基づき，65歳以上の人を対象に，フレイルについての正しい知識を学び予防するため，保健師の講話や歯科衛生士による口腔ケアの指導，管理栄養士による栄養講話や調理実習，健康運動指導士による運動指導を行いました。

特にオーラルフレイル対策には重点を置き，舌ブラシや歯ブラシの使い方，口腔機能チェック，口腔体操等の実技指導も行いました。

◆参加人数 延べ 25人

③ いきいきシニアの食事バランス教室（スマイル栄養塾）

京都市のスマイル栄養塾実施要綱に基づき，65歳以上の人を対象として，生活習慣病の重症化や低栄養を予防するため，医師や保健師の講話，管理栄養士及び健康運動指導士による栄養と運動の指導等を行い，食生活の改善及び体力の保持増進を図り

ました。

また、食事記録や日頃の身体活動から摂取カロリーの具体的な目標を設定して、受講生のモチベーションの維持・増大に留意しながら行いました。

◆参加人数 延べ 59 人

④ シニア体力向上教室（自主事業）

生活機能の低下の恐れがある人やその他の一般高齢者を対象に、それぞれの健康度に応じて安全に、かつ、長く続けられる筋力トレーニングを中心とした教室を引き続き実施しました。

実施に当たっては、医師による健康チェック等を踏まえ、油圧式筋力トレーニングマシン等を活用したプログラムを設定し、それぞれの生活機能の向上が自らの力でできるよう留意しました。また、随時、体力測定や体組成測定等を行い、運動効果を確認するとともに、水中運動や保健師の講話等も取り入れ、長く続けられるよう留意しました。

◆参加人数 延べ 223 人

⑤ イスで行ういきいき筋トレ教室（自主事業）

体力の低下や関節痛等によって立位での運動に不安のある人を対象に、椅子を活用したロコモティブシンドローム予防のための教室を開講しました。

◆参加人数 延べ 202 人

（2）中高年齢者の保健指導事業等の推進

- 生活習慣病の予防推進
- 疾病の早期発見，早期治療

特定健康診査，特定保健指導の実施

一人でも多くの中高年齢者が自らの健康状況を正しく把握し、自らの生活習慣を振り返る絶好の機会と位置付けていただけるよう、当協会での特定健診の受診を勧めました。また、必要な人には生活習慣の行動変容につながる特定保健指導を行うとともに上記（1）に掲げる介護予防事業や各種教室への参加も勧め、併せて生活機能の向上が図れるように努めました。

◆ 特定健診 169 件

(3) 中高年齢者の健康増進事業の推進

- 健康保持増進に係る意識の向上<きっかけづくり>
- 自らの健康度の把握, 自らの健康保持増進プログラム等の策定支援
- 持続する健康保持増進の取組支援

① 生活プログラムの作成・指導及び運動実践による健康づくり指導

自らの健康度に関心を示し、健康保持増進を自ら実施していく必要性を自覚している中高年齢者に対して、引き続きプール・トレーニングルーム等の施設利用を促し、併せて健康運動指導士等のスタッフによる必要な運動指導等により持続的な取組が行われるよう支援しました。

特に、地味で、単調化しやすいトレーニングの実践を如何に持続させるかに配慮し、3カ月単位の申込みにより持続的な取組を可能とした「ヘルスピア筋トレ教室」やその他「太極拳」「ヨガ」「健康カラオケ」「社交ダンス」等各種スポーツ・健康教室を毎月約70教室開講し、気の合う人との楽しい取組、仲間づくりも体験いただきました。

また、必要な人には健康度測定室の活用により血圧や心電図、更には運動負荷試験等の健康度の総合的な判定を実施し、その結果を踏まえてそれぞれに合った筋力トレーニングや有酸素性運動の実技指導を行いました。

(「令和3年度京都市健康増進センター利用実績 2 教室利用」参照)

- ◆ プール・トレーニングルーム利用者数 延べ57,703人
(うち40歳以上は約65%, 約37,507人)
- ◆ スポーツ・健康教室参加者数 延べ5,187人
(うちヘルスピア筋トレ1,306人)

② 高齢者筋力トレーニング普及推進事業の実施

ア 通所型

ヘルスピア21(油圧式マシン等を備えた中・高齢者筋力トレーニングルーム等)において、「京から始めるいきいき筋トレ」「ロコモいつでもどこでも京ロコステップ+10」を活用した高齢者向けの筋トレ教室事業を実施しました。令和3年度は、自体重で行う基本クラスを週に6教室、油圧式筋力トレーニングマシンを使用するクラスを週に2教室それぞれ開講しました。

- ◆ 参加者数 延べ2,979人

イ 出張型

より身近に筋力トレーニングを体験し、その魅力や効果等を理解いただくための「きっかけ」づくりとして、健康運動指導士が直接地域の公民館等へ赴き、実技指導等を行う「出張型いきいき筋トレ教室」を行いました。

- ◆ 対象 65歳以上の高齢者を含む5人以上
ただし、下京区、南区及び伏見区(本所、深草支所管内)
- ◆ 費用 無償(京都市助成事業)

◆ 参加者数 122 人

③ いきいき長寿パス等の活用

当健康増進センターを利用する中高年齢者が、安心、かつ、持続して健康保持増進に取り組めるようそれぞれに合った魅力的な定期券の発行等を行い、健康増進の意識向上と取組の推進を図っています。

65 歳以上の高齢者には長寿パス等を設け、料金割引とともに運動を通じて自らの健康に対する理解を更に深められるよう適切な機会に個別相談等を行い、必要な人には、生活機能の向上、生活習慣病の予防につながる持続的な取組の支援を行っています。

また、健康増進の必要性を理解しながらも働き世代、子育て世代等でなかなか実践に移せない人、「健康と運動」についてじっくり考え、実践する機会をもつことが困難な人等 40 歳以上の中高年齢者に対しては、夜間割引定期券（ナイトパス等）の活用等を促し、健康運動の魅力を体験いただくとともに、実践の中で、専門家による個別相談やカウンセリング等を通じて自らの健康度に応じた生活プログラムの構築につながるよう努めています。

◆長寿パス等の活用 実 1,649 人 延べ 19,777 人

◆夜間割引定期券の活用 実 588 人 延べ 6,468 人

④ 生活機能低下防止対策事業

京都市老人クラブ連合会等と連携し、京都市健康増進センターの魅力を知っていただき、今後、一人でも多くの方が、自らに合った健康増進の取組を行うきっかけとなるよう、健康運動指導士によるロコモ予防の運動や保健師による感染症予防に関する講話、体組成測定を取り入れた「ヘルスピア 21 半日体験」事業を行いました。

実施日	内容等	参加者数
令和3年12月15日	南区老人クラブ連合会 「半日体験」	16名

⑤ その他

京都市健康増進センター内に、栄養に係るモデル献立の展示や健康啓発リーフレット等を配備し、健康と運動に係る自覚と知識の向上に役立つよう取り組みました。

(4) 健康度測定室（メディカルコーナー）の運営事業

○ 心電図、肺機能検査等の医学的検査等の実施による健康度測定等

○ 健康、栄養指導等健康増進取組支援

医師、看護師、管理栄養士、保健師等の医療スタッフにより、介護予防事業参加者等に対するアセスメント等の機会に個別面談や診察を行い、必要な人には血圧、心電図、肺機能検査や運動負荷試験等の各種医学的検査等を行い、それぞれが自らの健康度を正

しく把握し、主体的に健康増進への取組を行えるよう指導しました。

また、適切な栄養指導や治療が必要と認められたときには、これらの改善策を指導し必要な場合には生活プログラムの作成・指導を実施しました。

また、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームの予防に重点を置いた特定健康診査及び特定保健指導等の取組も、医療保険者との連携を強化しながら、実施しました。

◆一般健康診断，予防接種等	374 件
◆特定健診，労基検診等	517 件
◆がん検診等	123 件

(5) 健康づくり関連団体等との連携協力，活動支援事業並びに調査研究及び普及啓発事業

① 健康づくり関連団体への講師の派遣及び研修生の受入れ等

ア 出張指導事業等

健康づくりに取り組む各種団体等と連携し、健康教室開催等のために講師を派遣し、また研修生や視察者を受け入れ、健康づくりの支援を行いました。

更に、KBS 京都のラジオ番組に定例的に出演し、健康知識の普及啓発や当施設の宣伝等にも努めました。

◆実績

月 日	相手先等	内 容
4月14日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
4月 2日	醍醐老人福祉センター	いきいき筋トレ指導
4月 9日	醍醐老人福祉センター	いきいき筋トレ指導
4月 9日	醍醐老人福祉センター	いきいき筋トレ指導
7月14日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
7月28日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
8月25日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
9月 8日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
9月23日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
10月13日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
10月20日	伏見区役所	糖尿病予防教室
10月27日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
11月24日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
11月27日	嵐山東社会福祉協議会	いきいき筋トレ指導
12月 8日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
12月15日	南区中小企業家同友会	ストレッチ体操
12月22日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
1月18日	南区役所	膝，股関節痛予防教室
1月26日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他

2月16日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
3月9日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
3月30日	山科自主グループ「コスモスの会」	ダンベル体操他
4月～3月 第3火曜日	KBS京都ラジオ「笑福亭晃瓶の ほっかほかラジオ」定例出演	大人の保健体育コーナー

イ 教育実習生受入れ

◆実績

令和4年2月24日	京都光華女子大学看護学科生（12名）
-----------	--------------------

② 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座の開催実施等

地域での自主的な健康づくりのリーダーとなる「京都市いきいき筋トレ普及推進ボランティア」の養成については、平成16年度から継続実施しています。

当協会が行う5日間にわたる養成講座を受講修了した人を一元的に登録管理し、また、3年ごとに登録更新を行っています。

登録更新には必要な講義受講や実践等を条件とし、かつ、活動報告会等による活動経験の交流等を通じ、さらなる知識の向上とやる気の高揚につながるよう工夫しています。

令和3年度末での実働登録者は438人を数え、それぞれの条件等にあった筋トレ普及推進活動を通じて各地域での居場所づくり、コミュニティづくりの核となるべく奮闘され、地域コミュニティの活性化や健全な発展に寄与されています。

発足から18年が経過し、ボランティアの高齢化が課題ではありますが、新たな後継者の育成にそれぞれの地域でも奮闘されています。

◆養成人員

令和3年度 22人

年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3
人数	59	61	119	100	107	95	70	53	58	41	59	58	60	56	30	55	34	22

合計 1,137人

◆活動実績

令和3年度

ボランティアの活動回数 3,252回（H16からの延べ回数 64,407回）

一般市民の参加者数 63,660人（H16からの延べ人数 1,435,889人）

◆いきいき筋トレボランティア活動報告会の開催

COVID-19感染症拡大予防のため、令和3年度は会場での参加者を制限し（100名）、その他にライブ配信やオンデマンド配信の視聴、書面による報告の4通りの方法で、医師による糖尿病予防に関する講話や、コロナ禍におけるボランティア活動の状況報告などを行いました。

開催日 令和4年3月23日

会場参加	ライブ配信の視聴	オンデマンド配信の視聴	書面による報告
99人	32人	140人	200人

③ 梅小路公園青空健康プログラムの指導等

(公財)京都市都市緑化協会主催の、散歩や体操など健康づくりのために公園を利用している方等を対象とした、認知症予防・メタボ予防・ロコモ予防などの健康づくりを目的としたミニセミナーやウォーキングなどの運動を1クール8回(月2回×4か月)、年間3クール実施する教室において、COVID-19感染症拡大予防のため緊急事態宣言発出期間中は休講となりましたが、合計18回の指導をしました。(延参加人数645名)

④ 体操動画の提供

社会福祉法人京都市南区社会福祉協議会からの依頼により、家でもできる自体重を使った筋トレやストレッチ等の動画を提供しました。

⑤ 健康づくりに関する調査、研究及び情報の提供

「京から始めるいきいき筋力トレーニング」についての情報や、ヘルスパia 21の活動についてインターネットホームページを通じて情報の提供に努めました。

さらにフェイスブック、LINE等を使って適時情報を発信しました。

また、市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進のための安全で効果的な健康づくりの方法等について調査、研究を行い、その成果を健康指導の実践に反映させています。

◆ホームページアクセス件数

令和3年度	62,538件
令和2年度	63,782件
令和元年度	75,116件

2 青少年等の健全な身体の増進事業

○ ストリートダンスや少林寺流拳法等各種スタジオ教室や水泳教室の開催等

生活習慣は、乳幼児から日々の生活の中で形成されるもので、ライフステージごとに特徴があり、一人一人が生活習慣を意識し、常に見直し改善が行えるよう支援することが求められますが、40歳未満の青少年に対しても健全なスポーツ、運動(当センターのトレーニング機器やプールの活用、エアロビクス、ストリートダンス、水泳等の各種教室への参加)により、青少年等の健全な身体の育成と豊かな情操教育の推進を支援しました。

毎年開講している夏休みや春休み期間を利用した、水泳教室には年少から小学生の子ども合計74人に参加いただきました。

また、海外からみえた外国人で、筋力トレーニング等を滞在中も引き続き実施希望する人にも、その機会を提供できるよう主なホテル等との協議を行いました。

- ◆ プール・トレーニングルーム利用者数 20,196 人
(全利用者数 57,703 人のうち 40 歳未満は約 35%)

3 京都市健康増進センターの管理運営

- 令和 3 年度から令和 7 年度まで、指定管理者として選定
- 最も効率的な方法による、高品質で満足度の高い市民サービスの提供

健康増進センターの運営については指定管理者制度が導入されており、当協会は、平成 18 年度から平成 22 年度までの第一次、平成 23 年度から平成 27 年度までの第二次、平成 28 年度から平成 32 年度（令和 2 年度）までの第三次に続き、令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間、京都市から指定管理者に指定されました。

これまでに培ってきたノウハウ、実績を生かし、＜一層の公平性、透明性、客観性の向上＞を図る観点から、最も効率的な方法で、高品質で満足度の高い市民サービスの提供に努めています。

◆ 京都市健康増進センターの概要

- 設置目的 市民の健康の保持・増進を推進し、「自分の健康は自分で守る」という機運をさらに高め、市民の誰もが自己の年齢、体力に応じて、より安全に、より効果的に健康づくりを行える拠点施設として設置

- 住 所 〒601-8441 京都市南区西九条南田町 1-2
TEL 075-662-1300
FAX 075-662-2055

- 敷地面積 約 4,360 平方メートル

- 建設規模 鉄筋コンクリート造 地上 4 階地下 1 階
延床面積約 10,600 平方メートル（南区役所、地下駐車場を含む。）

- 運営内容

〈運動設備〉

- ・営業時間 火曜日～土曜日 9:30～21:00
日曜日・祝日 9:30～17:00

- ・休業日 月曜日（7、8 月は営業）、6 月第 4 火曜日～木曜日、年末年始

〈健康度測定室〉

- ・営業時間 火・木・第 1・3 土曜日 9:00～12:00

- ・休業日 祝日、6 月第 4 火曜日～木曜日、年末年始

〈駐車場〉

- ・営業時間 火曜日～土曜日 8:00～21:15
日曜日、月曜日、祝日 8:00～17:15

- ・休業日 月曜日が祝日のとき（ただし，7月，8月は営業）
年末年始
- ・駐車料金 30分ごとに 100円
1日最大料金 700円

Ⅲ 庶務事項

1 役員等の辞任

ア 理事	令和3年5月6日	安部 康則
イ 評議員	令和3年5月6日	谷口 豊
	令和3年5月6日	宮本 英樹
	令和3年5月6日	山田 典子
	令和3年5月6日	古川 真文

2 役員等の新任

ア 理事	令和3年5月6日	谷利 康樹
イ 評議員	令和3年5月7日	角田 尚大
	令和3年5月6日	池田 雄史
	令和3年5月6日	並川 哲男
	令和3年6月25日	田中 均

3 評議員の任期満了に伴う役員を選任

令和3年6月25日開催の評議員会にて，任期満了の11名の評議員の再任と1名の新任の評議員が選任された。

評議員の再任

令和3年6月25日	小柳津 治樹
令和3年6月25日	奥田 純平
令和3年6月25日	尼川 龍一
令和3年6月25日	藤澤 明生
令和3年6月25日	北川 龍彦
令和3年6月25日	沼田 幸夫
令和3年6月25日	角田 尚大
令和3年6月25日	宮部 真典
令和3年6月25日	池田 雄史
令和3年6月25日	石田 洋也
令和3年6月25日	並川 哲男

令和3年度 京都市健康増進センター利用実績

1. 運動施設利用

	4 月			5 月			6 月		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	37	21	1.8	0	0	0.0	40	23	1.7
プール (15歳以上)	612	21	29.1	0	0	0.0	750	23	32.6
プール (15歳未満)	89	21	4.2	0	0	0.0	143	23	6.2
プ ー ル 計	701	21	33.4	0	0	0.0	893	23	38.8
トレーニングルーム	1,068	21	50.9	0	0	0.0	870	23	37.8
定期券	3,667	21	174.6	0	0	0.0	3,314	23	144.1
ヘルスパイパス	0	21	0.0	0	0	0.0	0	23	0.0
合 計	5,473	21	260.6	0	0	0.0	5,117	23	222.5
	7 月			8 月			9 月		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	52	31	1.7	68	19	3.6	0	0	0.0
プール (15歳以上)	1,184	31	38.2	940	19	49.5	0	0	0.0
プール (15歳未満)	400	31	12.9	309	19	16.3	0	0	0.0
プ ー ル 計	1,584	31	51.1	1,249	19	65.7	0	0	0.0
トレーニングルーム	1,177	31	38.0	753	19	39.6	0	0	0.0
定期券	4,114	31	132.7	3,099	19	163.1	0	0	0.0
ヘルスパイパス	0	31	0.0	0	19	0.0	0	0	0.0
合 計	6,927	31	223.5	5,169	19	272.1	0	0	0.0
	10 月			11 月			12 月		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	46	27	1.7	34	25	1.4	38	23	1.7
プール (15歳以上)	1,030	27	38.1	810	25	32.4	707	23	30.7
プール (15歳未満)	80	27	3.0	40	25	1.6	28	23	1.2
プ ー ル 計	1,110	27	41.1	850	25	34.0	735	23	32.0
トレーニングルーム	1,161	27	43.0	1,087	25	43.5	1,148	23	49.9
定期券	4,390	27	162.6	4,483	25	179.3	3,386	23	147.2
ヘルスパイパス	0	27	0.0	0	25	0.0	0	23	0.0
合 計	6,707	27	248.4	6,454	25	258.2	5,307	23	230.7
	1 月			2 月			3 月		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	35	23	1.5	51	24	2.1	42	27	1.6
プール (15歳以上)	601	23	26.1	631	24	26.3	749	27	27.7
プール (15歳未満)	52	23	2.3	67	24	2.8	97	27	3.6
プ ー ル 計	653	23	28.4	698	24	29.1	846	27	31.3
トレーニングルーム	1,111	23	48.3	1,215	24	50.6	1,245	27	46.1
定期券	3,305	23	143.7	3,309	24	137.9	4,039	27	149.6
ヘルスパイパス	0	23	0.0	0	24	0.0	0	27	0.0
合 計	5,104	23	221.9	5,273	24	219.7	6,172	27	228.6
	令和3年度A 合計			令和2年度B 合計			対前年度比 (A-B)		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	443	243	1.8	306	163	1.9	137	80	△ 0.1
プール (15歳以上)	8,014	243	33.0	7,676	163	47.1	338	80	△ 14.1
プール (15歳未満)	1,305	243	5.4	800	163	4.9	505	80	0.5
プ ー ル 計	9,319	243	38.3	8,476	163	52.0	843	80	△ 13.7
トレーニングルーム	10,835	243	44.6	16,042	263	61.0	△ 5,207	△ 20	△ 16.4
定期券	37,106	243	152.7	36,884	263	140.2	222	△ 20	12.5
ヘルスパイパス	0	243	0.0	139	263	0.5	△ 139	△ 20	△ 0.5
合 計	57,703	243	237.5	61,847	263	255.6	△ 4,144	△ 20	△ 18.1

2. 教室利用

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
一般教室	教室数	59	0	53	61	60	0	59
	参加者	562	0	434	543	516	0	511
ヘルスピアパス購入者		0	0	0	0	0	0	0
定期券購入者(実数)		349	0	288	338	326	0	325

		11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和2年度
一般教室	教室数	60	58	58	59	61	588	547
	参加者	527	534	505	505	550	5,187	5,075
ヘルスピアパス購入者		0	0	0	0	0	0	11
定期券購入者(実数)		332	304	296	287	307	3,152	3,000

3. 健康度測定室

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
一般健診		12	20	15	11	13	18	30
予防接種		2	1	2	0	1	0	16
健診事業	特定健診	0	16	10	12	6	6	29
	特定保健指導	1	0	0	1	0	0	0
	企業健診	42	25	30	64	27	38	22
その他		12	6	9	11	12	8	13
合計		69	68	66	99	59	70	110

		11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和2年度
一般健診		25	26	11	9	39	229	246
予防接種		117	4	0	0	2	145	186
健診事業	特定健診	27	22	9	13	19	169	173
	特定保健指導	0	0	0	0	0	2	12
	企業健診	34	25	12	20	7	346	409
その他		17	5	5	9	16	123	139
合計		220	82	37	51	83	1,014	1,165